

過去のアンケート調査を活用した委託研究のお知らせ

通常、研究を実施する際には、文書もしくは口頭で説明や同意の確認を行います。このような研究のうち、対象者の情報のみを用いる研究等については、国が定めた倫理指針に基づき、ホームページなどで研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要とされております（このような手法を「オプトアウト」と言います）。このお知らせは、国の倫理指針に基づき、皆様に通知させていただくものです。

本研究は、2021年1月に本NPO法人が実施しましたアンケートにご協力いただきましたデータを用いる下記の研究です。

なお、研究に関する質問や相談、意見などはいつでも受け付けますので、下記問い合わせ先までご連絡ください。研究への協力を希望されない場合は、下記に記載されている担当者に2022年4月末日までにお知らせください。何卒宜しくお願い致します。

研究課題名：

多胎児家庭における育児困難感の現状に関する分析

研究責任者・分担者：

大阪公立大学大学院看護学研究科 横山美江、畠山典子

本研究の目的：

多胎児をもつ保護者へのWebアンケートによる全国調査のデータを用いることにより、多胎育児に関する保護者の抱く育児困難感の現状を明らかにすることを目的とする。

研究期間：

承認された2022年5月1日 ～ 2025年3月30日

使用するデータ：

2021年1月2日～2021年1月20日までに、NPOが実施した多胎児育児の状況や育児支援サービスの利用状況等を調査した「双子・三つ子など（多胎児）の子育てをしている方を対象とした育児支援サービスおよびオンラインコミュニティ利用に関するアンケート」のデータを利用します。なお、本データは大阪公立大学でのみ利用します。

個人情報の取り扱い：

利用する情報からは個人情報は全て削除します。また、研究成果は学会や論文発表を予定していますが、その際も個人情報は利用しません。

本研究の資金源（利益相反）：

本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業はありません。

お問い合わせ先：

info@tsunagerunpo.com（担当者：大野祐一）

研究に関する質問や相談、意見については担当者から研究責任者に連絡し、回答させていただきます。

備 考：

本研究へ協力を望まれない場合は、2022年4月末日までに上記問い合わせ先までご連絡ください。

調査にご協力をいただけない場合でも不利益はありません。